

去年の師走に入つて間なしの夕刻、商店街のイベント活動や、本業の外出介助の会の、運営にかかわっておられる「からほり新聞」主幹の永井佳子氏から、突然の新年発行の心春号の表紙を飾る原稿の執筆依頼を受け、何で私にと戸惑いながら渋々受託するはめに…。テーマは「からほり」に関してフリーで書いてくださいなど。そんなこんなで結局12月中、この件に関しては、頭の中は白紙同然。新年を迎える暦は三ヶ日のラスト3日（日）依りによつて仏滅とは、トホホ…前置きが、ちと長くなりました。こいちらで本文に入らんと…。

日本映画の傑作に松竹の「男」はつらいよ」のフーテンの寅さんシリーズが有ります。その彼の自己紹介の決め台詞に、「生までも、育ちも葛飾柴又です。帝釈天で産湯を使い…」。そのくだりだけ借りれば、「生まれも、育ちもミナミの空堀です」。＊（私個人の感想です）時代を遡ること、70年前、大阪空襲の際、米軍のB29の焼夷弾にも、空堀周辺は幸いにも家屋が焼け残り、又そういう事例が、ヒントになつたかど

## 我が町、空堀



第36号  
(2016.01.31)

### 「空堀界隈を散策される皆様へ」

◆路地の奥は私有地が多いのでご注意ください。  
◆美しい石畳や木造家屋にゴミは似合いません。  
◆商店街は生活の場でもあります。節度とマナーで笑顔が増えます。

うかは定かではありませんが、2011年に作家、万城目学氏原作のSF映画「プリンセス・トヨトミ」の中で語られる、空堀商店街某所と大阪城の城闇地下下とを結ぶ秘密の地下トンネル。

あれから早5年の歳月の経過。そのブームも去り、今、大挙して大手を振って歩くのは、トランクゴロゴロ、グループ行動で爆買い、買い物をして、喧嘩腰の会話かと思われる中国人の団体さん。近隣周辺を見廻しても、大手スーパーの林立と反比例して消えていく個人商店店舗。新年幕開けで、いやな記事は書



(m.m記)

お年寄りの皆さん、住み慣れた町で楽しく充実した暮らしが続けられることを願つて、支援活動や暮らしの潤いになる様々な企画を推進しています。

#### ■高齢者外出介助の会

- ◆からほりさろんにぜひお越しください。  
月～金10時～17時まで空いています。
- ◆認知症カフェ「てるてるくらぶ」▶2月13日(土)13:30～15:00▶定員12名▶場所:からほりさろん▶参加:200円▶申し込み:高齢者外出介助の会▶06-6764-4002

◆空堀かるた大会▶空堀まちなみ井戸端会・島之内図書館共催▶1月31日(日)▶13:00受付▶13:30開始▶大阪市立中央会館▶小学生以上▶定員20名▶参加:200円▶申し込み:大阪市立島之内図書館▶06-6211-3645

#### ■大阪市立島之内図書館

- ◆電子書籍でめぐる大坂の陣▶2月6日(土)14:00～15:00▶無料▶先着20名
- ◆いろんなことばのおはなし会▶2月14日(日)15:00～16:00▶無料▶先着20名

当会は寄付が主な活動資金です。

この度イオングループのKOHYO空堀店様のご支援を頂くことになりました。毎月11日黄色のレシートを備え付けのボックスに入れて頂くと売り上げの1%が高齢者外出介助の会に還元されます。皆様ご協力お願い致します。

#### ■桃園会館

- ◆桃園寄席▶3月12日(土)18:00～300円▶桃園会館▶06-6762-5599

■複合文化施設▶萌(ほう)お店を出しませんか?▶要相談▶中央区谷町6-5-26▶株人と不動産▶info@hitotufudosan.com

■ロシア食堂ボーチカ▶イタリア ビエンナーレ展日本人初金賞受賞記念展覧会▶中川やすみち展(上町中学16期卒)▶3月22日～5月8日▶第1会場▶ロシア食堂ボーチカ▶時間11:30～22:00▶定休日月曜日▶4月12日～4月15日▶第2会場▶薬業年金会館▶こちらには大作展示▶こちらもおいでください。

お買い物は空堀商店街で

「からほり新聞」は高齢者外出介助の会に集う有志が、愛する「からほり」の賑わいを願つて作っている無料のコミュニティ紙です。ご意見ご感想・投稿・イベント情報などお待ちしております。また、「新聞置いてあげてもいいよ」とおしゃつてくださるお店も大募集。「からほり新聞に参加したいな」と思われる方、大歓迎です。気軽にご連絡ください。(現在55カ所設置)

特定非営利活動法人

### 高齢者外出介助の会とは?

お年寄りの皆さんに、より楽しく充実した日常生活を過ごしていただくため次のような活動を行っています。

- ①外出介助(買い物、お墓参り、通院など)
- ②暮らしサポート(買い物、薬取り、入院時支援など)
- ③車椅子貸し出し(お気軽にご利用下さい)
- ④生きがい作り講座(童謡・唱歌を歌う会、布ぞうりなど)
- ⑤ハーモニカ教室
- ⑥「からほり新聞」制作

お気軽に問い合わせください。

大阪市中央区松屋町4-8 メツ松屋町1階  
TEL&FAX 06-6764-4002

月～金(10:30～15:00)

E-mail: odekake@helen.ocn.ne.jp

ホームページ: odekake-karahori.com

◆年々しもやけになりやすくなっています。(岡田)  
◆暖冬も極まってきた年末年始で、何を着ようか迷う日が。(山名)  
◆空堀商店街を歩いていると時に人がまばらなのに、桃園祭り、桃谷祭り、高津さんなど、どこからこんなに大勢の人がとびっくり!

◆最近、新しいお店が増えてますね。入替りも多いのでしっかり空堀に根付いています。(ケラ子)

◆この人出が商店街に大挙して来てくださるといいのに。(のぶ)  
◆これからも天気のいい日に空堀めぐりをしようかな。(のぶ)

### 認知症カフェします からほりさろん

2月13日(土)  
13時30分～15時

何方でもお待ちしています。  
参加 茶菓代 200円  
今後、毎月第2土曜日開催予定  
電話 06-6764-4002

古典・現代邦楽など、どの分野でもお教えします

**箏・三絃**

生田流 九州流

講師：門脇 裕子

◆稽古日：相談 ◆月謝：5,000円

◆お問い合わせ：080-3117-6684

# 戦災、食糧難時代の思い出

[南] 照子さん（菜園） 昭和十一年生

ていて、「亡くなられた多くの方々の鎮魂になつてることだと思います。」

又当時の食糧不足は深刻でした。枚方市の中宮山戸町の親戚には、90歳の曾祖母、母、私、妹、弟の5人で疎開していましたが、母は着物を漬しては私や妹の背丈に合わせて子供服を作り、同じ位の子どものいる農家で食料品に代えて、谷町に残っている父、兄、姉、伯母の元に運んでいました。途中で米軍の機銃掃射にも会つたそうです。さて先日「からほり新聞」の中の「伝えたい、戦争の記憶」を読みビックリしました。投稿者は、ご近所で永いお付き合いのKさん。記事の中の「学生動員令が出て枚方砲兵工廠で働いていた時、楽しみはお昼に出来たお米のご飯」そのお米は、何と私の疎開先、親戚の屋敷内に並ぶ蔵に収納されていたお米だったのです。工廠からは定期的に出し入れ連載で。

## 伝えたい|まちの記憶 戦争の記憶

私は昭和18年4月、錦郷国民学校（現南大江小学校が男女校に分かれていた時の女子校）に入学し、終戦の日は疎開先の枚方（北河内郡）山田国民学校の三年生で迎えました。錦郷校の2年生の終わりの3月頃、滋賀県のお寺に集団疎開しましたが、父が心配して故郷疎開に変更してくれ、その手続きの期間だけ谷町5丁目の自宅に帰っていました。丁度その時、あの大阪大空襲にあつてしましました。

空襲警報のサイレンで、避難場所の現清水谷高校へと家を出た途端、私たちのいた国民学校は、早くも2校とも激しく燃え上がっており、校舎のどの窓からも異常なくらいの太い炎が噴き出していました。大勢の人たちが谷町筋をどんどん南へ逃げて行かれる中に合流し、清水谷高校で全員一夜を明かしました。

火災が鎮火した2、3日後、焼け跡へ焚火を拾いに出かけた時のことです、内久宝寺町通りでも沢山の死体に出会いました。遺体の上にはトタン板が乗せられ、ショーケで男、女、子供と書いてあり、中には胸ほどに腫れた脚がトタンからはみ出しているのも見えました。そこへ軽トラックが来て、脇を立て掛けた荷台にご遺体を盛り上げる程積み上げ何処かへ運んで行きました。あの後どうなったのか、長い間気になつていましたが、城北公園の近くの淀川べりでダビに付され、そこにはお地蔵さんの祠が建てられている事を後日知り、ほっとしました。最近はそこで淀川花火大会が開かれ



ありがとう！

高齢者外出介助の会

事務局長 永井佳子



車椅子から眺めてみれば

街のおじさんから⑧  
高齢や障害で車いす生活になることは誰にでも起つるかも…。  
でも車いすからは世の中がよく見えてくる。  
そんなおじさんの考えたことを連載で。



### 地域の福祉、みんなで参加

●地域の福祉の充実に、みなさまのご支援をよろしくお願い致します。共同募金は、10月1日～12月31日の期間ですが、年間を通じて寄付金を受付しています。●大阪府共同募金会事務局は、谷町7丁目交差点を信号1ヶ西入ルの大坂社会福祉指導センターの2階にあります。どうぞよろしく。●ホームページをぜひご覧下さい。http://www.akaihane-osaka.or.jp

ボランティアはありがとうと言う言葉を聞くと、また来よう。いつでも声をかけて下さいと舞い上がつてしまふ人種です。

昔、視覚障害者の手引きをしていた時「あり難い」とありました。白髪が目立つようになつてた方が、この話で「ありがとうございます」と言って飲むようにしたら黒くなら白髪だったのが黒くなつてきました。

私は白髪が多いですが気に入つてるのでこれは願わない。今おねがいしたいのは顔のしわ（笑）と、白内障と耳が遠いこと。これを水にありがとうと言つて飲み良くなればラッキーです。でも人事ではなく試してみてください。人に言うと関係がスムーズになります。

（身障者相談員・山名勝）

不動産の相続・生前贈与の名義変更是お任せください!!

各種初回相談無料

山田司法書士・土地家屋調査士事務所  
司法書士 山田 貴弘

大阪市中央区松屋町7-1-901(グラン・シティオ心斎橋EAST 9F)  
地下鉄:長堀鶴見緑地線 松屋町駅④番出口歩1分

☎06-6761-3312

http://www.yamada-legal.jp/

# からほい界隈お散歩MAP

皆様のからほり地域の情報をお知らせください!



◆《五十軒筋》  
鉄砲同心の屋敷が50軒あったというのでその名がついた。



◆《藤棚観音(観音坂)》  
子どもを亡くした親が一本の藤の木を植え、豊かに茂って人々に愛されていたそうです。



◆《大阪文学学校》  
1954年小野十三郎が発起人となり「大阪文学学校」を設立。  
田辺聖子、最近では浅井まかでなどが文壇デビュー。



◆《大阪城の堀の底》  
田島町ふれあい広場のところは大阪城の堀の底。

## 其の32 ～空堀の歴史を感じよう～

んそ慢元想武と堀つき  
でんも氣像士言。とつ谷  
くなしだすがうさかの  
だ昔たつる行五十軒筋  
さきをくたときか軒心作  
い。い時代堀つ筋がばば  
起きまががて刀住大坂病院  
こすあ歴い刀を住んで  
こして樂し。つ史たたな  
とでんしいのとでんしいの  
自もてたた空もた  
るとこを回りました。語ら  
い堀何らまさせてくだけ  
いの處を語れば必ずま  
せんと場所です。ジを膨  
され



◆《薄病院の跡地》  
今は駐車場だが、院長の薄怒一は幕下力士を無料で治療や食事など提供したことから広まった相撲用語でひいき客をタニマチと言う。



◆《金毘羅さん》  
空堀から見えるお百度石が目印で、この近辺に金毘羅さんがありました。



◆《土取り場》  
西の空堀から北に。路地を入ると瓦を焼く土を取り出したらしい、石垣が至るところに見える。



高校時代シンクロナイズドスイミングで  
日本代表世界3位という実績を持つ二村さん

長堀通沿いに9階建てのビルを構える隆祥館書店。朝8時半～夜11時の閉店まで営業し色々な人が来店します。決して大きくない店内に並べられた本は種類が多く、丁寧に紹介文が書かれています。

「父は『おススメする時は家族構成も知ったうえで』、『本屋はまちの文化の情報発信地だ』と色々なことを言っていました。出版をただ売れればいいという商業主義の餌食にすることな

くつあります。二村さんの両親である善明さんと尚子さんが3階から9階と苦労をして大きくしていきました。知子さんが本格的に引き継いだのは1996年。当時は右も左もわからなかつたそうですが、信念に基づいて本屋に立つお父様にたくさんのことをお聞かせます。

「一冊の本に納まりきれない程の情熱や思いが伝わるだけでもらった交流が生まれることもあります。玉岡かおるさんのトークイベントでは、「お家さんのトーキー

(店舗情報)  
隆祥館書店(りゅうしようかんしょてん)  
住所...中央区安堂寺町1-3-4  
電話...06-6768-1023

今回の快傑空堀人は少し出張して安堂寺町にある町の本屋「隆祥館書店」の二村知子さん。昭和26年から64年続く老舗の2代目で強い志と使命感を持って書店を運営。町の本屋販売コンクールで何度も全国1位となり注目を集める書店と二村さんの魅力をお聞きしました。

隆祥館書店 二村 知子さん

## 本屋はまちの文化の情報発信地

**快傑！からほり人 快傑ファイル其の二十八**

本屋にやりがいを感じてい

ていて「私が一番好き

な言葉。作家と読者をつなぐだ

けではなくて、地域の文化に貢

献することも書店の使命」と知

子さん。

## 高津さんのとんど祭り

1月11日 高津神社でとんど祭りがありました。ネットで毎日新聞の地方版「日本一の屋台」ミシュラン人気店が並ぶ高津とんど祭りと紹介がありこれはみて来なくっちゃーと。境内は古くなったお札、しめ縄など様々なものをとんどに放り投げている人などで煙がもうもうたっています。落語でおなじみ「高津の富くじ」のお札も顔見知りの方々が売っておられ、「どうするの?」教えてもらって富くじの箱に、番号を貼り、木札をいました。1時から開始というので待ちましたが「しまった!」当たりくじを引くのに昔ながらの木札をつくので時間のかかる事。富くじの景品はたくさんあって、お米60kgやトイレットペーパー1箱などユーモアもあり楽しい催しです。この富くじを目当てに沢山の人が来られているということでした。もう一つはミシュラン人気店というのでさすが食欲をそそる匂いが充満した境内でした。



## 南税務署からのお知らせ

### 確定申告相談会場が変わります!下記会場をご利用ください。

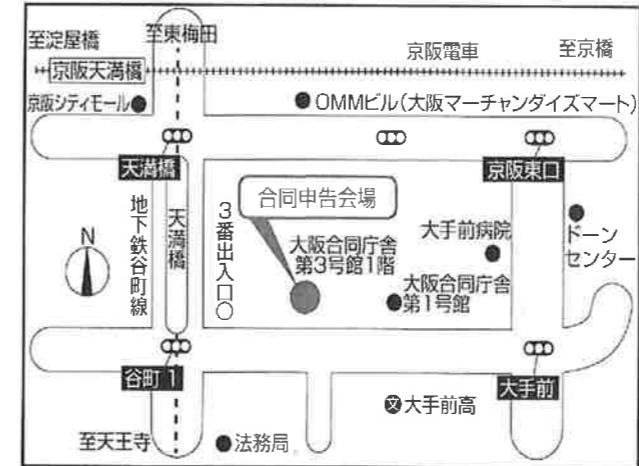
(南税務署内には申告相談会場を開設しません。)

<会場名> 天王寺・東・南税務署合同申告会場 (大阪国税局1階)

<開設期間> 2月2日(火)～3月15日(火) (土・日・祝日を除きます。)

<相談受付時間> 午前9時15分～午後4時

※会場が混雑している場合には、受付を早めに締め切ることがあります。



- 当会場では納税および納税証明書の発行はできませんので、ご注意ください。
- 当会場には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- お越しの際は、確定申告関係書類及び前年分の申告書の控え等をご持参ください。
- 作成済みの申告書等は、上記期間中も税務署で受け付けています。

【問合せ】南税務署 電話 06-6768-4881 (代表)  
※ 自動音声によりご案内します。

※ 申告会場は混雑することが予想されます。是非、国税庁HPの申告書作成コーナーをご利用ください。

国税庁ホームページ [www.nta.go.jp](http://www.nta.go.jp)

または、 作成コーナー 検索